



# 高商 夢舞台駆けた

# 高商

▶1回戦

浦和学院	0	0	0	0	0	3	0	1	2	6
高崎商	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



## 22年ぶり夏 初戦で涙



ベンチ前に整列する高崎商ナイン―甲子園

### 序盤の逸機響く

【兵庫―入山亘、出川未涼記者、梅沢守カメラマン】第94回全国高校野球選手権大会第4日は11日、甲子園球場で1回戦を行い、本県代表の高崎商は第1試合で浦和学院(埼玉)と対戦。0-6で敗れ、初戦突破はならなかった。

高崎商は初回、先頭打者の内田勝也の内野安打、2番富沢好平の犠打などで2死一、二塁としたが、後続が断たれ先制の好機を逃した。二回にも得点圏に走者を進め、三回には富沢の左中間二塁打と3番石田拓哉の左前打で1死一、三塁としたが、併殺で逸機。四回も2死から7番高橋優希の右前打、8番川浦拓哉の四球で一、二塁としたが、あと一本が出なかった。

エース左腕の関純は五回まで、丁寧な投球で浦和学院打線に得点を与えなかった。六回に先頭打者を死球で出し、三盗を決められるなどリズムを崩して、中犠飛で先制点を献上。直後の2死一塁から低めの球を左翼スタンドに運ばれた。